



2019.11.29
コチ コンサルティング

先週発表されたJETROによるアジア、オセアニアの日系企業の活動実態に関する調査結果では、本年も中国事業における経営上の問題のトップとして人件費の増加が挙げられています。本号では、11月8日のCoChi東京セミナー参加企業アンケート結果より、2020年の在中日系企業の人事にかかわる課題の共有と併せ、2020年の人事施策のポイントの一つと考えられる休暇の実態をご報告いたします。【モチベーション考察】第8回は「若者のワークモチベーション」について日本生産性本部調査結果より日中比較を考察します。



HR Café

注目Q & A

定年退職従業員の有休はどのように処理しますか？
定年退職褒賞に関してどんな事例がありますか？

<https://cochicon.com/3303.html>

<https://cochicon.com/3304.html>

【2020 以薪伝心 年度調査 報告会】 ～不確定要素の多い2020年の人事戦略の為に～

12月初旬の上海報告会は満席となりましたが、下記日程で北京報告会を開催致します。

また、12月中旬よりご参加企業様に報告書と報告会動画を配信、12月末までに個別レポートを送信致します。

【北京報告会】1月16日（木）13：30～15：00 “以薪伝心”年度調査参加企業様対象報告会

15：15～17：10 「人事管理調査から考える2020年の人財マネジメント施策」

詳細、お申込み：<https://cochicon.com/3305.html>

※より多くの皆様にご機会をご活用頂くべく、調査票受付締切を延長しております。また、未提出の企業様は調査票記入支援いたします。ご連絡下さい。 お申込み>><https://cochicon.com/general-survey/>

内容【人事・労務情報】

■2020年の人事労務課題（11.08 日本本社アンケート）～最大の関心事は人事の可視化～ 【全国】

■2020労務管理トレンド：年次有給休暇付与実態 ～休暇奨励政策下の各社の施策状況～ 【全国】

【シリーズ：モチベーション考察】第8回：若者のワークモチベーション日中比較 ～能力を試したいか？～

■2020年の人事労務課題（11.08日本本社アンケートより）～最大の関心事は人事の可視化～ 【全国】

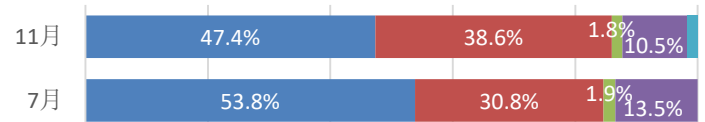
JETROによるアジア、オセアニアの日系企業の活動実態に関する調査では、今後1～2年の事業展開の方向性に関して、全体では「拡大」とする企業が昨年調査より6.2ポイント低下し48.9%となり、中国では「拡大」が4年ぶりに5.5ポイント低下し、43.2%となったと報告されています。

11月8日開催のCoChi東京セミナー参加企業アンケート（右グラフ）では7月時点より「拡大」が6.4ポイント低下し47.4%、現状維持が7.8ポイント上昇し38.6%で、前回調査（7月）より中国事業環境の悪化が伺えるという結果でした。

JETRO調査では中国事業における経営上の問題として、本年も「従業員の賃金上昇」がトップに、「従業員の質」が4位に挙げられており、中国事業における人事に関わる課題の重要性が改めて示されたと言えます。

CoChiの調査では、具体的な中国法人の人事上の課題としては、「③人事管理・労務運用の標準化、見える化」を挙げた企業が最も多く、続いて「⑥人件費上昇への対応」が挙げられました。（次項）

【中国事業の今後の展開方針(CoChi調査 有効回答57社)】

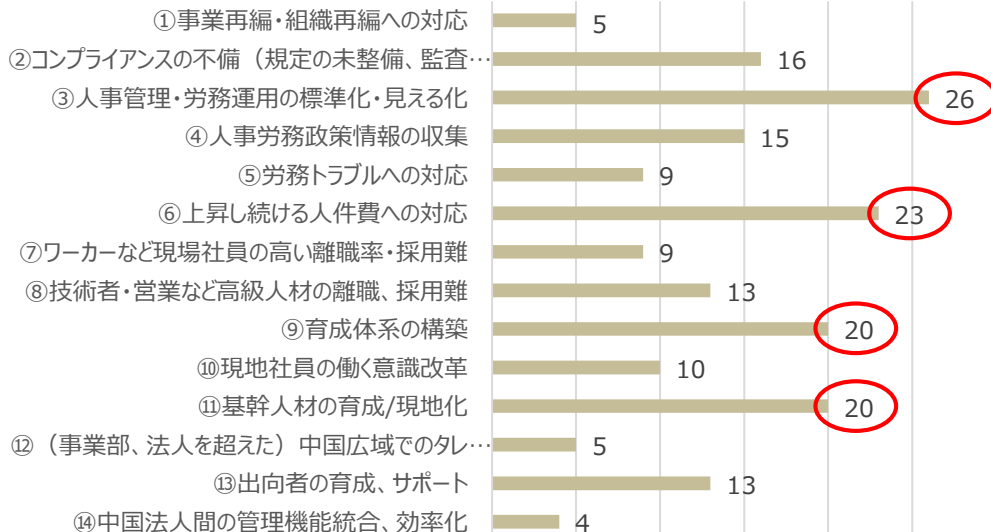


■ 拡大 ■ 現状維持 ■ 縮小 ■ 統括機能強化 ■ その他

中国事業の経営上の問題(JETRO調査)	2019年	2018年
1. 従業員の賃金上昇	73.7%	75.7%
2. 競合相手の台頭（コスト面での競合）	50.0%	51.7%
3. 調達コストの上昇	47.5%	53.5%
4. 従業員の質	44.0%	42.0%
5. 環境規制の厳格化	43.5%	45.8%

日本本社の、制度整備による人件費上昇への対応強化、管理の可視化によるコンプライアンス、ガバナンスの強化を図りたい意向が伺えます。

【中国法人の人事上の課題】（CoChi調査 有効回答57社、複数回答） 単位：社

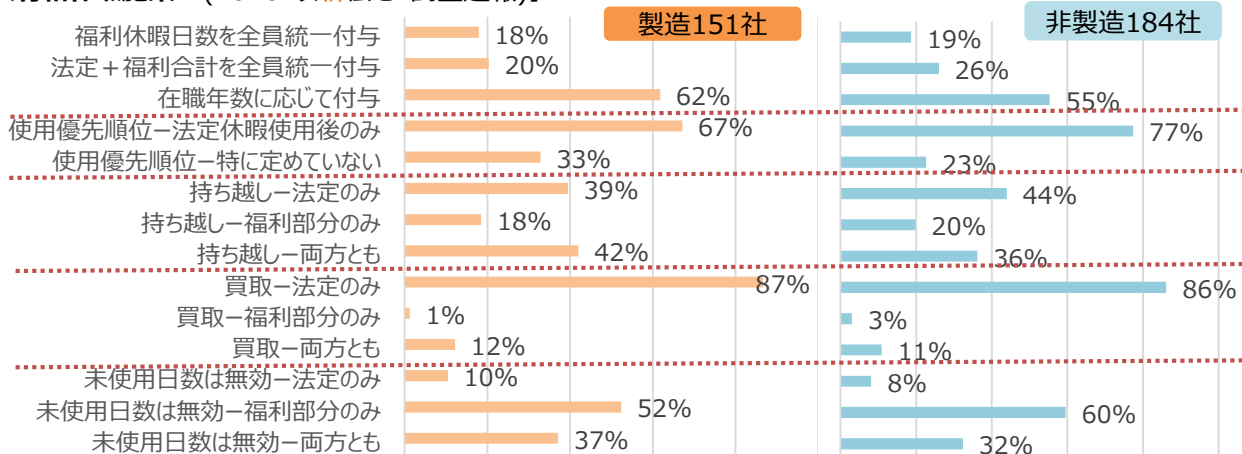


Navi 「⑨育成体系の構築」「⑩基幹人材の育成/現地化」が3番目の課題として挙げられていることは、多くの日系企業で、成長する中国市場で事業展開するにあたり、事業を支える人材の質の転換が求められており、基幹人材の育成、確保が喫緊の課題となっていることが明示されています。

■ 2020労務管理トレンド：年次有給休暇付与実態 ～休暇奨励政策下の各社の施策状況～ 【全国】

2020年の休日調整では、5月1日の労働節休暇を休日調整により5連休とすることが発表され、長期休暇創出による景気刺激政策が実施されています。生活水準の向上に伴う、ワークライフバランス重視傾向が強まるなか、“休暇”はモチベーション施策として益々有効な報酬となっています。【2020以新伝心年度調査】から年次有給休暇施策に関する速報をご報告します。年末を迎え、有給休暇の消化、持ち越しが気になる時期にあたりご参考下さい。*年次有給休暇：<https://cochicon.com/178.html>

【年次有給休暇施策（2020“以新伝心”調査速報）】



【シリーズ：モチベーション考察】「経営戦略としての人材マネジメント - モチベーション考察 -」

第8回：若者のワークモチベーション日中比較 ～能力を試したいか？～

11月8日CoChi東京セミナー第3部オープンディスカッション「グローバル事業経営と人材マネジメント」の冒頭で、下記の日本生産性本部調査結果につき、中国人新卒の意識との比較が議論されました。日本では「楽しい生活」が

日本生産性本部 2019新卒調査 ↑上昇傾向、↓低下傾向

【働く目的】 楽しい生活↑> 経済的豊かさ↑> 能力を試す↓

【働く度合い】 人並みに↑> 他人以上↓

【若いうちは…】 苦勞すべき↓ ≡ 苦勞したくない↑

働く目的の最上位であり続伸しており、「自分の能力を試す」が低下しているのに対し、中国の若者の就労意識も概ね日本と近いものの、「能力を試す」の重視度が伸びている点が異なると指摘されました。成長を続ける中国市場で事業を拡大するための人材マネジメントには、経営の意識調整が必要と考えられます。